

行事報告

令和3年度 大阪大学接合科学研究所 共同研究成果発表会

竹中 弘祐

接合プロセス研究部門 エネルギー変換機構学分野 准教授

当研究所は接合科学共同利用・共同研究拠点として、共同研究員により得られた研究成果を広く一般に公開するために、共同研究成果発表会を毎年開催しています。本年度は昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催(Webex)にて 2021年 11月 24日(水)に行われました。

本年度は、接合プロセス研究部門、および

スマートプロセス研究センターの共同研究員の7名の方から、接合科学共同利用・共同研究拠点を利用してえられた研究成果をご発表いただきました。今回の共同研究成果発表会には 56名の方々にご参加頂きました。コロナ禍の中、オンライン開催でございましたが、活発な質疑応答が行われ、主催者・視聴者ともに有意義な発表会となりました。

・プログラム

セッション I : 接合プロセス研究部門

「タンデム型旋回流プラズマ溶射装置を用いた液相前駆体溶射による酸化物半導体皮膜の高速形成」

安藤 康高 氏 (足利大学 工学部)

「金属/樹脂接合に向けた新規大気圧プラズマの開発」内田 儀一郎 氏 (名城大学 理工学部)

「耐塩性亜セレン酸還元微生物の集積及び特徴づけ」井上 大介 氏 (大阪大学大学院 工学研究科)

「レーザ加工における純銅反射率の温度依存性に対する理論的考察」

加藤 進 氏 (産業技術総合研究所 電子光基礎技術研究部門)

セッション II : スマートプロセス研究センター

「光造形法を用いた歯科用ジルコニア製作」吉原 久美子 氏 (産業技術総合研究所 健康医工学研究部門)

「溶液を反応場とする微粒子合成と機能探索: 液相プロセスを用いた複酸化物ナノ粒子の合成とライフイノベーション関連材料への展開」鈴木 義和 氏 (筑波大学 数理物質系)

「超低熱伝導率材料の熱物性評価」大村 高弘 氏 (和歌山工業高等専門学校 知能機械工学科)

・発表会の様子

